

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 岡本硝子株式会社

コード番号 7746 URL <http://www.ogc-jp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス本部長 (氏名) 阿部 裕

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,423	△14.6	84	△72.6	68	△75.0	67	△71.4
23年3月期第1四半期	1,667	34.7	308	—	273	204.9	237	258.5

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 70百万円 (△69.2%) 23年3月期第1四半期 227百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.26	4.25
23年3月期第1四半期	14.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,607	1,285	16.1
23年3月期	7,239	1,215	16.0

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 1,225百万円 23年3月期 1,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,091	△8.8	121	△79.8	107	△78.4	245	△45.1	15.37
通期	7,000	9.9	420	△51.5	441	△44.5	567	△21.6	35.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	15,941,740 株	23年3月期	15,941,740 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	360 株	23年3月期	360 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	15,941,380 株	23年3月期1Q	15,941,380 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況にあるなかで、サプライチェーンの建て直しにより、生産は上向きを見せておりますが、雇用情勢は、持ち直しの動きに足踏みが見られるなど景気は依然として厳しい状態にあります。先行きについても、電力供給の制約や海外の景気動向など景気が下振れする懸念を残しています。アメリカ経済は、景気回復が緩やかになってきており、失業率の高止まりや住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがあります。中国経済は、景気は内需を中心に拡大しているものの、物価上昇による影響が懸念されます。

データプロジェクターは、新興国において教育用途での普及、拡大が続く一方で、欧米では需要が弱含みとなっております。当社グループのプロジェクター用反射鏡は、期末の在庫調整の影響を受けておりましたが、平成23年5月には販売は回復をみせました。

デジタルシネマ上映システムは、デジタル化による映画配給に伴う費用の削減と3Dで製作される映画タイトルの増加により導入が加速化しております。このため、当社グループのデジタルシネマ用映写機の反射鏡の製造と販売は順調に拡大しております。

平成23年3月に発生した東日本大震災により、フライアイレンズと自動車用製品を生産していたガラス溶融炉1基が破損しましたが、後継として新設したフライアイレンズ専用炉が平成23年6月に量産を開始し、主に自動車用製品を生産する炉が平成23年7月に量産を開始しました。しかしながら、当第1四半期連結累計期間では、生産能力及び生産効率の低いバッチ式の溶融炉でのハンド成型方式により代替生産を行ったことから、フライアイレンズは、製造コストが上昇するとともに、生産量は減少いたしました。自動車用製品についても、外注での対応をしたことにより製造費用が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,423百万円(前第1四半期連結累計期間比14.6%減)、経常利益68百万円(前第1四半期連結累計期間比75.0%減)、四半期純利益67百万円(前第1四半期連結累計期間比71.4%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①照明事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は197百万円と前年同期と比べ55百万円(21.8%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は22百万円と前年と比べ54百万円(70.6%)の減益となりました。自動車用ヘッドレンズ・フォグレンズは、東日本大震災の影響により、販売数量が前年同期比で48.5%減少し、売上高は33.5%減少しました。

#### ②光学事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は967百万円と前年同期と比べ168百万円(14.8%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は179百万円と前年と比べ140百万円(44.0%)の減益となりました。プロジェクター用反射鏡は、教育用途を中心としたデータプロジェクターの需要が底堅く、在庫調整の影響からの回復が進みました。販売数量が前年同期比で12.2%減少し、売上高は15.4%減少しました。フライアイレンズは、新設のガラス溶融炉が平成23年6月に稼動するまでの生産能力及び生産効率低下の影響が大きく、販売数量が前年同期比で36.9%減少し、売上高は34.0%減少しました。デジタルシネマ用映写機の反射鏡は、好調な受注により増収となりました。

#### ③機能性ガラス・薄膜事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は36百万円と前年同期と比べ22百万円(158.1%)の増収となり、

セグメント損失（営業損失）は31百万円と前年と比べ8百万円の増益となりました（前第1四半期連結累計期間のセグメント損失は40百万円）。プロジェクター用ガラス偏光子の販売が増加いたしました。また、集光型太陽光発電用ガラス部品については量産化に向けた体制を整えつつあります。

④その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は221百万円と前年同期と比べ42百万円(16.1%)の減収となり、セグメント利益（営業利益）は16百万円と前年と比べ33百万円(67.0%)の減益となりました。紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工の受注は減少しましたが、洗濯機用ドアガラスの販売は堅調に推移しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて368百万円増加し、7,607百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ194百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が119百万円増加したこと並びに受取手形及び売掛金が153百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ173百万円の増加となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ368百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ380百万円の増加となりました。この主な要因は、未払金が111百万円増加したこと及び横浜事業所の売却に伴う174百万円の借入金の返済を新たに計画したため長期借入金から1年内返済予定の長期借入金に振替えたことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ82百万円の減少となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金へ174百万円振替えたことと、震災復興資金として株式会社日本政策金融公庫より150百万円を借入れたことなどにより長期借入金が90百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は298百万円増加しました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ70百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が67百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表しました平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	908,351	1,027,885
受取手形及び売掛金	1,159,301	1,312,671
商品及び製品	394,996	451,780
仕掛品	175,059	208,352
原材料及び貯蔵品	56,540	60,719
繰延税金資産	887	768
その他	276,482	104,165
貸倒引当金	△4,970	△5,018
流動資産合計	2,966,648	3,161,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,594,847	1,579,759
機械装置及び運搬具(純額)	1,309,906	1,429,228
土地	708,614	708,614
リース資産(純額)	148,702	172,707
その他(純額)	312,174	352,920
有形固定資産合計	4,074,245	4,243,230
無形固定資産	27,558	27,561
投資その他の資産		
投資有価証券	89,795	94,124
その他	82,236	82,318
貸倒引当金	△927	△823
投資その他の資産合計	171,104	175,619
固定資産合計	4,272,908	4,446,410
資産合計	7,239,557	7,607,735
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	374,283	427,966
1年内返済予定の長期借入金	300,008	474,997
リース債務	31,076	40,427
未払法人税等	10,902	8,094
賞与引当金	131,703	200,233
未払金	206,662	318,150
その他	203,550	169,211
流動負債合計	1,258,187	1,639,081
固定負債		
長期借入金	4,348,644	4,258,613
リース債務	136,138	162,288

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
退職給付引当金	212,254	217,078
資産除去債務	27,307	28,306
負ののれん	12,959	5,183
繰延税金負債	10,146	11,642
その他	18,421	—
固定負債合計	4,765,871	4,683,111
負債合計	6,024,059	6,322,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,761,028	1,761,028
利益剰余金	△861,690	△793,817
自己株式	△355	△355
株主資本合計	898,983	966,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,510	125
為替換算調整勘定	259,051	258,976
その他の包括利益累計額合計	257,541	259,102
新株予約権	13,043	12,980
少数株主持分	45,930	46,603
純資産合計	1,215,498	1,285,542
負債純資産合計	7,239,557	7,607,735



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,667,761	1,423,714
売上原価	1,112,712	1,074,440
売上総利益	555,048	349,273
販売費及び一般管理費		
役員報酬	21,406	19,271
給料及び手当	60,397	64,450
退職給付費用	2,029	1,981
減価償却費	12,123	8,960
旅費及び交通費	8,775	9,221
支払手数料	24,715	23,395
運賃	19,692	15,573
賞与引当金繰入額	11,936	13,572
研究開発費	19,701	32,115
その他	66,086	76,212
販売費及び一般管理費合計	246,864	264,754
営業利益	308,183	84,519
営業外収益		
受取利息	46	77
受取配当金	4,029	4,026
負ののれん償却額	7,775	7,775
助成金収入	734	3,320
その他	825	3,930
営業外収益合計	13,412	19,130
営業外費用		
支払利息	24,546	23,900
為替差損	21,961	10,257
その他	1,331	1,020
営業外費用合計	47,839	35,178
経常利益	273,756	68,471
特別利益		
新株予約権戻入益	4,203	4,393
貸倒引当金戻入額	613	—
固定資産売却益	38,064	—
その他	4	13
特別利益合計	42,885	4,407

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)
特別損失		
固定資産除却損	69	528
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,259	—
投資有価証券評価損	53,868	31
その他	3,475	—
特別損失合計	62,673	559
税金等調整前四半期純利益	253,968	72,319
法人税、住民税及び事業税	2,494	3,223
法人税等調整額	9,555	382
法人税等合計	12,050	3,606
少数株主損益調整前四半期純利益	241,918	68,712
少数株主利益	4,539	839
四半期純利益	237,378	67,872

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	241,918	68,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	1,635
為替換算調整勘定	△14,415	△240
その他の包括利益合計	△14,506	1,394
四半期包括利益	227,411	70,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,271	69,433
少数株主に係る四半期包括利益	2,139	673

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	253,099	1,136,707	14,035	1,403,842	263,918	1,667,761
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	253,099	1,136,707	14,035	1,403,842	263,918	1,667,761
セグメント利益又は損失(△)	76,831	320,030	△40,433	356,428	49,924	406,352

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	356,428
「その他」の区分の利益	49,924
全社費用(注)	△98,169
四半期連結損益計算書の営業利益	308,183

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	197,977	967,976	36,224	1,202,178	221,536	1,423,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	197,977	967,976	36,224	1,202,178	221,536	1,423,714
セグメント利益又は損失(△)	22,626	179,078	△31,632	170,073	16,467	186,540

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	170,073
「その他」の区分の利益	16,467
全社費用(注)	△102,020
四半期連結損益計算書の営業利益	84,519

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。